

# 三菱統合ビルシステム “ MELUNITY / MELSAFETYシリーズ ”

曾我部淳子\*

## 要 旨

自社ビル・複合ビルなど建物の用途を問わず、近年ビル内におけるセキュリティシステムや出入管理システム ( Access Control System : ACS ) は急速に注目を集めており、ビルの安全運用を行うために必要なシステムとして導入が増加している。

三菱電機においても、ACS機能機種としてMELSAFETYシリーズを、またビル管理システム( Building Automation System : BAS )とACS機能を統合した機種としてMELUNITYシリーズを市場に投入しており、数多くの実績を積み重ねている。

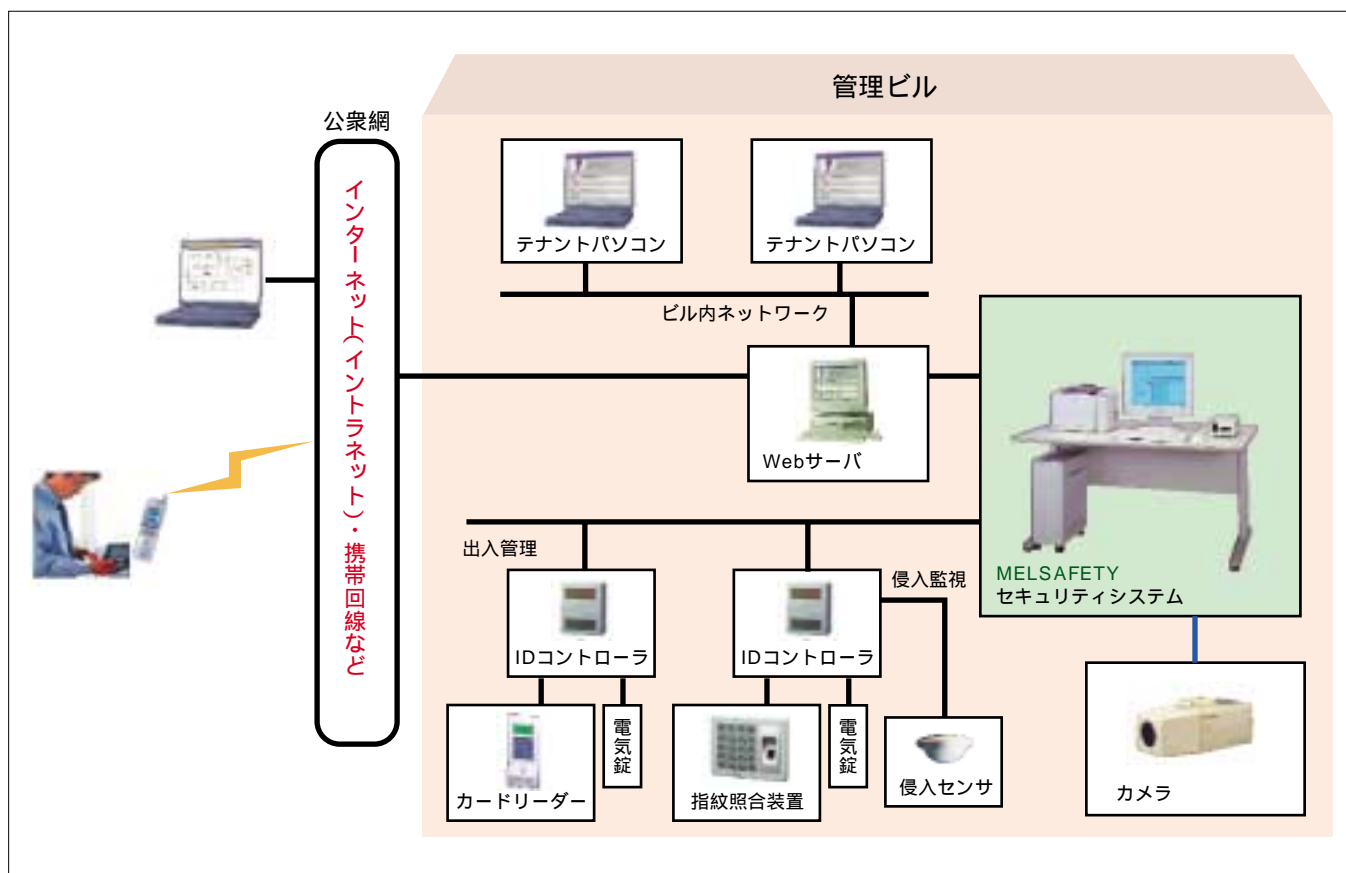
本稿では、ビル内セキュリティの概要とACSとBAS機能を統合し2001年から市場投入を行っている新統合ビルシ

ステムMELUNITY-U, MELSAFETY-Sシリーズについて述べる。

新統合ビルシステムの主な特長は次のとおりである。

- オープンネットワーク( BACnet<sup>(注)</sup>, LonWorks<sup>(注)</sup> 対応 )
- ビル内ネットワーク対応( 客先システムとの接続等 )
- 多様なセキュリティ機能
- 豊富な個人識別端末
- ビル管理( BAS )機能の包含( 設備統合 )
- 遠隔管理

(注) “ BACnet ”は、American Society of Heating, Refrigerating and Air - Conditioning Engineers( ASHRAE )の登録商標である。  
“ LonWorks ”は、米国Echelon社の商標である。



## 新統合ビルシステム( MELSAFETY-Sシリーズ )のシステム構成例

統合ビルシステムでは、入退室、設備、情報のトータル管理を特長とする。さらに、ネットワークへの対応、設備統合機能やセキュリティアプリケーションの充実により、ビル全体の効率運用支援や、多様化するシステム運用用途にも柔軟に対応するシステムへと発展させることが可能となる。